

空から落ちてくる宇宙ゴミに注意

WIKIPEDIA The Free Encyclopedia (スペースデブリ落下事故の一覧)
 List of space debris fall incidents

＜下記は2023年以降の抜粋であるが、もちろん、発見されて報道されたものみのリストである＞

- 2023:
 - 2023年4月27日、鹿児島県沖永良部島の海岸で、中国の国旗に似た模様と中国語で「換気ダクト」のマークが入ったスペースデブリが発見されました。[43]
 - 2023年5月、再突入したスペースデブリの破片がウガンダ西部のケゲグワ、センバブレ、ケンジョジョ地区の一部に落下し、センバブレのナカワラ村の家屋の屋根に落ちた破片もありました。国立法医学大学の報告によると、回収された物体は特殊な合金と炭素繊維で作られており、SpaceXのものである可能性があります。[44]
 - 7月16日、ボーラー衛星打ち上げロケットの第3段のものと思われる複合モーターケースが、西オーストラリア州のグリーンヘッド近くの海岸で発見されました。[45][46][47][48]
- 2024:
 - 2024年3月8日、フロリダ州ネーブズの家屋に、重さ約2ポンド(0.91kg)の円筒形の金属物体が衝突し、物的損害が発生しました。[49][50] この物体は、2021年にISSから投棄されたEP9バッテリーパレットの一部であり、軌道が崩壊したときに再突入を生き延びました。[51][52][53][54]
 - 2024年4月28日、カナダのサスカチュワン州イトゥナの農場で、焦げ跡のあるスペースデブリの破片2個が発見されました。より大きなスペースデブリは、炭素繊維複合材とハニカム構造を持ち、重量は約100ポンド(45 kg)でした。これは、2月26日にその地域に再突入したAxiom 3 Dragonトランクセクションの一部でした。[55][56]
 - 2024年5月21日、米国ノースカロライナ州ヘイウッド郡で再突入したスペースデブリの破片が発見されました。焦げた物体は4フィート×3.5フィートの大きさで、重さは約90ポンド(41 kg)で、建築材料として金属製の埋め込みが点在する炭素繊維がありました。同日、約40マイル(64 km)離れたノースカロライナ州メイコン郡で、住宅所有者の屋根に衝突した別の小さな破片が発見された。[59][60] 両方の破片は、同日に再突入したSpaceX Crew-7 Dragon宇宙船のトランク部分に属している。[61][62]
 - 2024年12月30日15:00頃(EAT)、マクエニ郡ムクク村で直径2.5メートルの500kgのリングが落下しました。ケニア宇宙庁は、回収された物体を再突入したスペースデブリの一部と見なしています。[63][64]

＜作成:stnv基礎医学研究室＞

BBC NEWS JAPAN

国際宇宙ステーションの「宇宙ごみ」金属片、米民家を直撃

2024年4月17日

アメリカ航空宇宙局(NASA)は15日、国際宇宙ステーション(ISS)から放出された宇宙ごみの一部が3月、地球に落下し、米フロリダ州の民家を直撃したと認めた。

この物体は重さ0.7キログラム。地球の大気圏に再突入した際、完全に燃え尽きないまま民家の屋根と二つの階の天井を突き破った。

家の所有者のアレハンドロ・オテロ氏は当時、息子がけがを負うところだったとソーシャルメディアに投稿していた。



フロリダ州の民家に落ちた宇宙ごみ



地球の上空に打ち上げられる人工衛星の数は年々増加の一途である。一方で、役割を終えた人工衛星の回収は進んでおらず、それを打ち上げたロケットの残骸や、軍事的な破壊実験で生じた残骸、残骸同士が衝突することによって生じた破片が散らばっており、徐々に大気圏に再突入して燃えるが、約5%は燃え尽きずに地上に落下する。

YAHOO! JAPAN ニュース

巨大な「宇宙物体」の断片、ケニアの村に落下 まだ高温

1/4(土) 9:30 配信

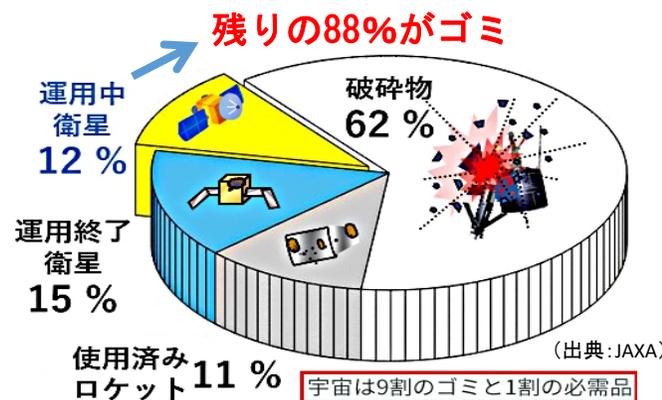
CNN.co.jp



ケニアの村の茂みに、リング状の「宇宙物体の断片」が落下

(CNN) ケニア南部マクエニ郡のムクク村でこのほど、巨大な高温の物体が空から落下してくる出来事があった。ケニア国営放送が地元住民の話として伝えた。ケニアの宇宙機関が直ちに調査を開始している。

KSAが人里離れた村に落下した物体を保管している。幅2.5メートル、重さ500キログラムの宇宙ゴミとみられる。KSAは暫定的な分析ではロケットの分離リングであることが示唆されている



宇宙は9割のゴミと1割の必需品

